

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第3号を送付します。

平成16年度病虫害発生予察注意報第3号

平成16年11月8日

高知県病虫害防除所

**病虫害名 トマト黄化葉巻病**

1. 対象作物 トマト（施設栽培）
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 10月中旬
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
  - 1) 本病は平成16年2月に土佐市で本県での初発生を確認し、その後の調査によりトマト栽培地帯を中心に6市3町村での発生を確認、発生地域は拡大している。（表1）。
  - 2) 10月4～5半旬に実施した施設トマトの巡回調査及び各農業振興センターなどからの聞き取り調査によると早期の抜き取りにより発生株率は高くないものの、広範囲で発生が見られている（表2）。
  - 3) 媒介虫であるシルバーリーフコナジラミは防除により、平年より密度は低いものの発生が続いている（表2）。
  - 3) 定植がほぼ終了したことから発病株の除去による減収が予想される。
6. 防除対策
  - 1) 発病株の早期発見、除去に努め、伝染源をなくす。
  - 2) 媒介虫であるシルバーリーフコナジラミの防除を徹底する。なお、薬剤抵抗性発達回避のため同一系統の剤の連用は避ける。
  - 3) 施設開口部への防虫ネット（1mm目以下）被覆、ほ場周辺の除草、近紫外線カットフィルムの利用など成虫の侵入防止に努める。

表1：トマト黄化葉巻病の発生確認地域（）内は初発確認時期

土佐市（2月）、春野町（7月）、日高村・伊野町（8月）

南国市・中村市・須崎市・高知市（9月）、土佐清水市（10月）

表2：黄化葉巻病及びシルバーリーフコナジラミの発生状況

（平成16年10月、促成トマト）

	黄化葉巻病		シルバーリーフコナジラミ	
	発生面積(ha)	発病株率(%)	発生面積(ha)	寄生株率(%)
本年	13.7	2.8	9.3	1.3
平年	0	0	13.1	9.4

栽培面積：37ha

